

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	民法Ⅵ	2	新島 一彦	
平成25年度以前	家族法	4		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
民法の親族編と相続編(家族法)の基礎を理解できるようにする。				共通
授業の概要				専門基礎
親族関係や婚約と内縁、氏、夫婦、離婚、実子と養子、非嫡出子と認知、親権、扶養、相続と遺言、戸籍や家事調停・審判・人事訴訟などは、自分自身の問題として、また、市民の常識として、あるいは国家試験等においても不可欠な分野である。法律関係、キーワード、難解語などは板書するので、ノートをとることが必要である。テキストにしたがって授業を進めていくので、予習・復習をきちんとすること。				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:家族法の教育的な意味と必要性 親族法総則</p> <p>第2回:婚姻</p> <p>第3回:離婚</p> <p>第4回:親子(1)</p> <p>第5回:親子(2)</p> <p>第6回:親権</p> <p>第7回:後見・保佐・補助</p> <p>第8回:扶養</p> <p>第9回:相続法の基礎</p> <p>第10回:相続の効力</p> <p>第11回:相続の承認・放棄</p> <p>第12回:財産分離</p> <p>第13回:相続人の不存在</p> <p>第14回:遺言</p> <p>第15回:遺留分</p> <p>【履修上の注意事項】</p> <p>民法総則を履修していること。従って、2年生以上の者が履修するようにしてください。テキストと六法を必ず持参すること。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
高橋朋子・床谷文雄・棚村政行「民法7 親族・相続」第4版 有斐閣アルマ 2400円＋税				25年度以前 専門基礎科目
参考書・参考資料等				
別冊ジュリスト 家族法判例百選 [第7版] 有斐閣 2400円				
学生に対する評価				演習
レポート提出(1回)、筆記試験(学期末)を総合的に評価する。				